

■ 11/19(日) 広島タウンミーティング 質疑

【質問2】あなたとサッカーとの関わりを教えてください。	【質問3】性別をご回答ください	【質問4】年代をご回答ください	【質問5】日本サッカー界や広島県内のサッカー活動を行う上で問題、現場で起きている課題等についてご意見をお聞かせください。	【質問6】日本のサッカーや広島県のサッカー発展のためにあなたが取り組んでいること、実践していることを、ぜひお聞かせください。	【質問7】当日聞いてみたいこと、提案したいことなどがございましたら、自由にご記入ください。
審判員 役員 保護者		60代	リーグ戦化に伴い試合会場の確保が困難である。 女子のトレセン活動を行う上で指導者が不足している。特にB級以上の指導者		
審判員 自治体 Jサポーター		40代	リーグ戦化で試合数の増加は良いが試合会場の確保が難しい。また、試合が重なることで試合は行えるが、指導者が実際の試合が見れないことが多い（私がGKコーチなこともあるが）。また、以前のようなトレセンを行えない（ある程度のレベルの選手をさらに向上させられない＝特に中国地域の選手に取っては大切だと思う）。GKの指導者の不足	GKの指導＝国体の手伝い、トレセンの手伝い	特にありませんが、当日行けるかどうかは現在ではわからない（試合の状況で）。
審判員 役員		60代	地域（小学校学区）の活動が、児童の減少、指導者不足などからか、むつかしくなっているように思える。	キッズ（9歳以下）へのサッカー導入、コーチング、	小学生へのサッカー指導における、勝敗へのこだわり方。
審判員 保護者		40代	例えばトレセンを実施しようとしたとき、関わる人（関われる人）が少ない。指導担当者、事務方担当者とも。このことはトレセンだけでなく、多くのジャンルで共通することだと感じている。	女子（特にU12）の普及、発展のために、トレセン活動をスタートさせ、整備してきた。	
保護者		50代	・サッカースタジアム（Jリーグ他で使用）、サッカー場（アマチュア使用）の不足で、試合数に対応できていない。 ・障がい者サッカーの受け皿づくりができていない。	・サッカースタジアムの建設推進。 ・障がい者サッカーの普及活動。 ・芝生化の推進。	
審判員 役員 自治体		40代	入部する子供の減少。けが人の増加。	地域少年サッカークラブの指導のサポート	中学生（ジュニアユース世代）における学校の部活とクラブチームの違い。中学校の部活に対するサッカー協会からの支援。
審判員		30代	GKの強化は日本がW杯でベスト8以上に進出する為に必要不可欠と考えるが、現状、日本ではプロ以外ではJクラブの下部組織や一部の強豪校、強豪社会人チームを除けばGKコーチがいない事が多い。GKコーチの不足と、またGKに注目が集まらないメディアの報じ方がある中で、どうGKを強化していくかが日本全体の課題。	GKコーチが全国的に不足している現状の中で、日本各地で出張GK指導やGK練習会を行い、またメディアや個人ブログ、SNSでGK情報を配信し、世間でなかなか注目されないGKというポジションに、多くの人が興味をもち、GK理解が深まり、GKが好きになってもらえるよう、個人的な活動を続けている。	GKの強化プランと、GKコーチの不足についての日本サッカー協会の考え。世界と戦うためには、GKは身長が最低185cm必要、理想は180cm代後半～190cm代だと考えるが、U-20W杯を戦ったU-20日本代表の正GKの小島選手は183cmしかなかった。世界で通用する長身GKをどう育成するか？
審判員 役員 保護者		50代	トレセン活動やユースダイレクター事業などJFAから各FAにおりてくる仕事の量・質ともに今までの体制では消化しきれものではなくてきている感がある。少なくともトレセン統括担当者とユースダイレクターに関しては現職の片手間ではできず、早急に専任化すべきである。FA内から任命できない場合はJFAから派遣するなどの対策があつてしかるべきと考える。また、それを統括する地域ダイレクターであるNTCには地域の実情をしっかりと把握していただいて改善すべきところがあればFAに任せるだけでなく、しっかりと寄り添ってともに解決する姿勢を持っていただきたい。また、全国的に遅れている部分は認めざるを得ないが、その中で中国地域が目指すものが何なのか、また、広島県FAが目指すべきところはどこなのかを同じ目線で議論しながら作り上げていく姿勢を持ってほしい。現状では個人的には一緒に夢を語る状況ではないので元気が出ない。	JFAから発信される情報をユース部会や技術委員会などで議論しながら、できるだけ広く広められるよう組織の充実を図る。 自チームの活動などがかなり不十分であるが、情報をしっかりと把握し、各地域やカテゴリーで行われている大会やトレセン活動などをできる限り視察し、現状を把握すること。	トレセン活動の充実です。中国地域・広島の実状からすると指導者の質を上げることが最重要課題です。そのためにはサンフレッチェの育成指針やノウハウを生かすことが近道だと考えています。できればサンフレッチェとダイレクトにつながる事ができるナショナルトレセンコーチの人選をお願いしたい。私個人がトレセン活動に関わるようになって、地域ダイレクターだけでも7名がほぼ2年周期で代わってきています。サンフレッチェとJFAの兼任の時はそれでも広島の特性的なものが見えていましたが、現在はJFA発信のものしかなくなっているように感じます。我々も研修や研鑽を重ねることが大切なことは重々承知していますが、日々の忙しい中で仕事を抱えながら実践していく上では目から鱗が落ちる様な刺激と寄り添っていただける温かみがないと元気は出ません。 リーグ戦化・国体U-16化等改革が進んできたが、変革の流れを文書に残してほしい。今後さらに改革するにしても、これまでの流れを理解したうえでより良い意見が出れば良いと思う。その時代の強いチームのわがままや特例が通らないようにしたい。
保護者		50代	・全少予選と学校行事が重なっている。 ・芝生のグラウンドの不足。	4種年代選手に対する普及及び育成	
保護者		50代	中学校における部活動と指導者の育成	福山地域のサッカーの普及と指導者育成の支援	
自治体	男	70代	サッカーファンの動向が流動的である（成績によって影響されてしまう）	行政のスポンサーゲームの開催	リスペクト事業に対する取り組み

選手 審判員 役員	男	50代	・4種のトレセンにおいて、選手の引き抜きがあるらしい。 ・一部チームにおいて、過剰なコーチングがみられる。 ・選手の成長ではなく、チームの勝敗が優先されるチームがある	・子供エリアを作った大会を開催し「めざせベストサポーター」等JFA出版の冊子を参加チームの指導者、選手、保護者に配布している。 ・大会においてアルミ缶資源回収を行い換金し、東北熊本等の被災地のサッカー協会に寄贈した。	・本来あるべき4種のトレセンとは何ですか？ ・広島県サッカー協会の組織図がよく解らない。
指導者	男	50代	2種年代の日程について	ユース年代の指導の維持	現在は特になし
関係者 Jクラブサポーター	男	70代	・キッズ~シニア（含む女性）のプレー環境 ・プロ等の観戦環境	カテゴリー全般に共通する環境の改善、向上に取組中（ユメ？を含んで）	※私は、携帯とFAXにて活動しております！！ 質問、意見等への回答、見解等を書面にて出来るだけ具体的に。。。
その他 NHK	男	40代	日本人スター選手の海外流出	放送を通じたサッカー文化の向上	広島にサッカー専用スタジアムを作る
関係者 Jクラブサポーター	男	80代	サッカー場の建設推進、市県、財界に対してのアプローチ不足？広島県全体のスポーツ界を萎縮させる。作ると云っているのに確りした対応！！	広島県歯科医師からの後援をしています。 広島県サッカー協会では小学生徒の大会を毎年8月中旬に平和祈念にしてデジタルサッカーフェスタ2016として開催いたしています。 平和学習を平和記念会館で行っています。参加チーム16チーム約350人。 昨年は福島県、長崎、台湾、鳥取、岡山、島根。 広島市から中区、西区、安佐南区。福島市から4チーム。鳥取シティー、鳥取北支部トレセン。	日本協会からも広島県市、協会に対し精神的な提言をお願いします。赤いカーブに負けない、紫のサンフレッチェの大応援をしましょう。広島市内の活性化にもなります。
指導者 審判員 関係者	男	60代	トレセン制度がスタートすることには賛成であり、トレセンに活性化は必要なことであると痛感する。 しかし、現状はナショナルトレセンコーチの都合で非常に窮屈な動きになっている。中国地域及び広島県担当のコーチが地域に密着していない。地元に着し地道に活動するコーチ、末端の指導者からも信頼されるコーチをJFAが責任をもって任命してほしい。	JFAの情報を全指導者が共有できるよう組織の充実を図っている。	トレセンの充実させることは、中国地域・広島の現状からすると最重要課題です。 中心になるナショナルトレセンコーチの専従と人選をお願いしたい。 サンフレッチェのスタッフがJFA関係に抜け、地域の中心になるコーチが短期周期で交代することが続き継続性がなくなっている。我々も活動を活性化する必要があるが、地域に定着するコーチが必要である。 リーグ戦化・国体U-16化等改革が進んできたが、変革の流れを文書に残してほしい。今後さらに改革するにしても、これまでの流れを理解したうえでより良い意見が出れば良いと思う。その時代の強いチームのわがままや特例が通らないようにしたい。
選手 役員 関係者	男	60代	シニア種別は『競技』と『楽しみ』との棲み分け必要、競技として全国を目指す大会（チーム）と体を動かすことの楽しみ（健康維持）を目的とした大会（チーム）との区別が急務の時期である。シニア世代も競技性を重視した大会（チーム）となっており非常にレベルの高い反面、シニア審判員有資格者要請及び現有資格者レベルアップが必要である。例えばシニア世代は審判とプレーヤー掛け持ちで肉体、精神的負荷増でありシニア限定資格3級、2級審判員の養成検討をお願いしたい。	中国FA及び広島FAのシニア委員長としてJFAシニア大会部会のスムーズな情報展開と中国地域シニア委員長会議の活性化で問題点、課題等共通化を図り改善施策に繋げている。 広島FA全16地区からシニアチーム登録を推進、次に競技者として生涯サッカーを主眼に普及活動を図っている。（現在10地区登録）	夏場のプレー環境について、大会使用会場施設での最大限の努力、準備をしているが、万プレー中の事故等に関する事案が発生した場合、主催者として責任範囲はどの様になりますか、至近で訴訟事例等があれば差支えなければ紹介をお願いしたい。
指導者 審判員 関係者	男	50代	各種別とも年間公式戦数が多く、トレセン活動などの活動がかつてに比べてスケジュール調整が難しくなってきた。トレセンコーチの確保と資質向上。NTCコーチとの連携。	JFAからの発信や他県の取り組みなどの情報を収集する。各種別の取り組み状況を把握する。それを月1回の技術委員会で委員の皆さんに発信し、討議する。	

	男	50代	広島県内に自治体の人工芝グラウンドが2面しかありません。(安芸高田市・廿日市市) 広島県のサッカー人口からして、時間制限のない人工芝グラウンドが、あまりにも少ないのではないかと。各カテゴリー間でのグラウンド手配の競争緩和のためにも、HiFAが主体となって人工芝グラウンドを作れないか。福島、千葉、静岡、大阪、福岡等のような一箇所に複数面のフットボールセンターを作り計画はないのか。3種の公式戦は、芝会場がなく山口(大島)岡山(笠岡)まで足を運んでいるとも聞いている。	質問7の続き ③スタジアム問題について、既に新スタジアムが完成した、長野、吹田、北九州、建設が決定している京都(亀岡)、長居(C大阪)、甲府(リニア駅前)、公表されていないが計画が確実に進んでいる県が数か所ある。いち早く数年以上前から取り組んでいる広島は、3度のJ制覇にもかかわらず、他府県、他のJチームに先を越されています。シニアサッカーファンからは「何とかなんのかのう?」「わしらが生きとるうちにできるんかいのう?」「わしらにできることはないんかのう?」と嘆く声が聞こえてきます。HiFAは、この問題にどう関わろうとしているのか?2020年以降には、Jリーグのプレミア化(12チーム程度)もささやかれている。その条件の一つに、3万5千人以上入るスタジアムとも言われている。スタジアム建設関係は、このことを知っているのか?	①シニアサッカーで活動する中、前述の通り絶対数が足りない試合場確保に苦慮しており、一昨年は老人の公式戦が公共のスタンド付天然芝グラウンドを使っている同日に、高校サッカー選手権の2次リーグ(ベスト16)の試合が、高校のクレーグラウンドで開催されていた。主に健康作りを目的とした年寄り(じじい)が、青春の全てを賭けて戦っている若者(孫)に譲るべきであり、大変心を痛めた経験がある。HiFAでは、この辺の調整はできないのか。全国でも同じ現象は起きていないのか? ②広島開催の日本代表戦を持ってこれないのか。代表戦はスタジアムの関係でできないのであれば、オリンピック代表やなでしこ代表とかの試合も、ここ数年観たことがないので何とかマッチメイクできないか。生で観戦することで、子供達に夢を与えることになるのでは。奇しくも東京五輪代表は、我らの元サンフレッチェ監督の森保一氏が指揮するのであればなおさらである。
指導者 Jクラブ関係者	男	40代	県内の育成現場の状況をもっと改善する必要がある。普及活動は活発にできている。その次の育成の状況をもっと改善する必要がある。選手に対して課題をしっかりと伝えること。うまくするために出来ないことと出来ることを伝えて、出来るようになるために何が必要なのかも伝えて、トレーニングの中で意識でき、日々成長するために挑戦できる場になるような改善が必要。そのためには指導者がもっと理解していくことが大切。指導者がさらに理解を深める場が必要。指導者の意識はとても高い。ただ日程や場所などで指導者の方が知識を得ることが容易でないことが広島での大きな課題。だから指導者講習会に対する認識も低い。負の連鎖になっている。	ジュニアユース・ユースのスタッフで指導者講習会(年4回から6回程度)を行っている。10年ほど前から。最初はナショナルトレセンコーチの日程を調整してもらいお願いしていた。ここ数年はチームスタッフで行っている。クラブが行っている月2回程度の育成ミーティングの縮小型。	サッカー協会と共同でクラブやチームが指導者講習会を開催できるようになればもっと身近にできると思う。地域の事情や状況がわかり顔を知っているクラブ指導者が先導してすることが地域の指導者により理解してもらえる。そこにサッカー協会が共同してすることで指導者ポイントなどや情報を共有することで指導者の意識が高まる。指導者講習会の内容をある程度方向をまとめるためにも、サッカー協会の方でしっかりと講習会を行うスタッフに伝達講習会を行うことが必要。その講習会を行えるスタッフの基準はしっかりと設ける必要はある。例えば2種ならプレミアリーグに参加しているチームの監督。など全国大会などである程度活躍しているチームの監督に限定する。そうすれば説得力が増してそのチームの孤立化を防げる。
指導者	男	30代		指導者として、研鑽するためにライセンス獲得を目指している。	
指導者 審判員 関係者 自治体	男	60代	①Jリーグ傘下のチームやクラブ的に活動しているチーム・学区内に於いての社会体育的チームのエリアが同じで活動することにあたりリーグ戦などについて	①カテゴリー特に2・3・4種のコラボについて ②4種の活動費について ③グラウンド確保について	①8人制について出発点の時期は、誰もがたくさんボールに触ることができるの発想で始まったが、現在は、大会でもほとんど8人制だけど勝負にこだわり誰もがボールに触ることができない状況が多い。
選手 関係者	女		女子について 施設、日程、人材(運営、指導者、審判員)すべてにおいて不足。一般大人チームの選手不足が深刻。大会、トレセン等過密日程。		O-30、O-40レディース大会の全国大会開催時期の変更をお願いしたい。 一般的に年度末になり仕事の都合で、参加できない選手が多い。施設建設に向けての、他県の活動等聞いてみたいです。
選手	女	50代		女子サッカークラブの運営と下部組織の育成	
指導者 審判員	男	20代	グラウンドが少ない事。特に広島市内。	地区トレセン活動に参加している事。	今後のサッカーはどんな風に進化していくかが知りたいです。
審判員 Jクラブサポーター	女	50代		ホームテレビ企画サイトの「ぼるぼるLive」にて毎週、FMちゅーピーにて月1、それぞれスポーツのコーナーに出演し、サンフレッチェ広島を主としたJリーグの話題、サッカー日本代表の話題を話しています。	サッカースタジアム建設実現に関しての取り組みをお訊きしたいです。以前はスタジアム建設シンポジウムも開催されていましたが、最近では「建設しよう」という声がだんだんと小さくなっている気がします。再度声を大きくする為に何か予定・計画されていることがあるのでしょうか。